〔有用遺伝資源の評価・利用〕

ブバルディアの第3期「東京スター、東京ダブルスター」シリーズ2品種の育成

宮下智人・木下沙也佳*,*2・小坂井宏輔*,*3・小幡彩夏*,*4・大槻優華・澁澤直恵*5・大根田順子*5 (園芸技術科・*島しよセ大島)*2現園芸技術科・*3現江戸川分場・*4現中央普及セ・*5元島しょセ大島

【要 約】大島の基幹品目ブバルディアの生産振興のため、第3期2品種を育成した。2品種の花はグリーンの一重咲きとピンクの八重咲きで、どちらも海外品種と同程度のクオリティとボリューム感があり、大島で栽培しやすく、高い収量が見込まれる。

【目 的】

大島の基幹品目ブバルディアは、海外品種の利用による苗コストの増大や切り花需要の低迷、生産者の高齢化等の要因により、近年の生産額が最盛期の10分の1まで減少している。産地再興の基軸となる東京オリジナル品種の育成が求められている。そこで大島で栽培しやすく、海外品種と同等以上のクオリティをもつ新品種の開発を行った。

【方 法】

2015 年,海外ハイブリッド系の一重咲きの「ロイヤル(以下,R)ユリア」など3品種 (8x) および八重咲きの「ダイヤモンド(以下,D)ライラック」(8x) を用いて2組合せの交配を行った(図1)。2016~2018 年,得られた実生個体を9cmポットで栽培して開花調査を行った。花の色や形,花着き等をもとに一次選抜して,原木を大島に送付した。2017~2020 年,島しょ農林水産総合センター大島事業所で選抜系統を挿し木増殖し,慣行で栽培した。計5回の開花調査・現地検討会を大島生産者および種苗会社の協力のもとで実施し,樹勢,草姿,切り花品質(海外品種に近いクオリティまたは新規性があること),花持ち,挿し木・培養増殖性等の特性を総合的に評価し,二次および最終選抜を行った。

【成果の概要】

- 1. 「Rユリア」×「Rローザ」および「Dライラック」×「Rダフネフレスコ」の交配で各々46株,19株の実生を作出し、各々12株,5株を一次選抜した(図1)。次に大島で栽培評価し、樹勢、切り花品質等が総合的に優れる一重咲きと八重咲きの各1系統を最終選抜して、第3期新品種の育成を完了した(表1)。第1~2期では一重咲きと八重咲きの新品種の名に各々「東京スター」、「東京ダブルスター」と冠したことから、今回はグリーン一重咲きの新品種を「東京スター オーロラ(以下、オーロラ)」、ピンク八重咲きを「東京ダブルスター フラミンゴ(以下、フラミンゴ)」と命名した(図2)。2023年3月に品種登録出願し、同年7月に出願公表された。
- 2. 「オーロラ」は、既存のグリーン系品種より切り花長が長く、花数が多く、ボリューム感がある(図2)。「フラミンゴ」はアレンジに使いやすい定番のピンク八重であり、複色の組合せは既存の八重品種に無く、新規性がある。2品種ともに花は海外品種と同程度のクオリティがあり、大島で栽培しやすく、樹勢が強く、高い収量が見込まれる。

【残された課題・成果の活用・留意点】

大島での普及・定着を図るとともに、栽培特性や花持ち性の把握を進め、適宜マニュアル 化を行う。また第4期の育種選抜を進め、10品種程度でのシリーズ化を図る。

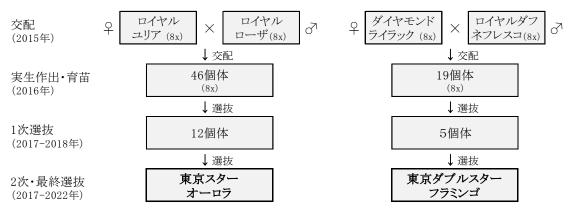


図1 第3期2品種の育成経過

表1 第3期2品種の特性^a

形質名	新品種		対照品種	
	東京スター オーロラ	東京ダブルスター フラミンゴ	グリーン マジック	ダイヤモンド ライラック
樹高	高	高	中	高
茎の色	明緑	緑	明緑	带紫赤
茎の分枝性	中	中	中	中
葉身の形	楕円形	楕円形	卵形	狭楕円形
花型	一重	半八重	一重	八重
花序の花の数	多	中	中	中
花序の花の着生	密	密	中	密
つぼみの色	暗桃	桃	明桃	暗桃
花冠の直径	中	中	中	中
花筒の長さ	中	中	中	中
花弁の色数	2色	2色	2色	2色
花弁の主な色 ^b (RHS)	鮮紫ピンク 63C	紫ピンク 65B	鮮紫ピンク 64D	鮮紫ピンク 73A
花弁の二次色 ^b (RHS)	濃黄味緑 143B	鮮紫赤 N66A	浅緑 143C	鮮紫赤 N66A
花弁の複色の模様 花弁の形	爪 広卵形	目 広卵形	爪 楕円形	目 広卵形
開花始期	地	中	中	<i>四卵形</i> 中

a) 2021年, 島しょ農林水産総合センター大島事業所にて調査 b) RHSは, RHSカラーチャート。色の和名は, 日本園芸植物標準色票の付表1「色名対称一覧表」より



オーロラ (品種登録出願番号36705)



東京ダブルスター フラミンゴ

(品種登録出願番号36704)

図2 第3期2品種の花